

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	20 長野県
市区町村名	20210駒ヶ根市
自治体区分	

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
20210駒ヶ根市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	現在登録があるボランティアの高齢化や、CS・学校支援ボランティア事業についての周知不足により、学校において、放課後の学習支援をはじめとするボランティアの十分な確保が難しい。	学校運営協議会を定期開催し、保護者や地域住民への協力を呼びかけた。また、保護者や地域住民へのボランティア募集等の連絡に関して、より効果的にできるような連絡方法を協議した。	すぐーるや回覧板、掲示板、学校のおたより等を学校ごとに活用して、保護者や地域住民に対し、CS・学校支援ボランティア事業の周知を図る。	授業や放課後の学習支援において、必要な人数のボランティアを確保することができる。総合的な学習等の時間において、地域学校協働活動の充実を図ることができる。	学校支援ボランティア登録数	326	人	350	329	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫改善が求められる。学習支援のボランティアが不足している学校については、放課後学習の実施が可能な人数のボランティアを確保することができず、指標として提示している「学校支援ボランティア登録数」の実績値は目標値を下回った。しかし、学校の環境整備や登下校見守り、クラブ活動等に必要なボランティアについては、どの学校でも比較的安定して確保することができている。地域学校協働活動による児童生徒の学習内容の充実に取り組むことができたと思われる。学校支援ボランティアとして教育委員会に登録するボランティアは、現在ほとんどが学習支援のボランティアのため、ほかの活動に携わる無償のボランティアが数値として見えづらい現状がある。現在ボランティアの希望やボランティアへの依頼は学校が行っているため、間に教育委員会が入っていないということも含めて、学校支援ボランティア登録制度の見直しや、地域学校協働活動の実施状況が数値として見られるような工夫について、検討が必要である。	駒ヶ根市ホームページ－教職員働き方改革 (https://www.city.komagane.nagano.jp/gyosei/kosodate_bunka_sports/kyoikuiinkai/hatarakikataikaku/index.html)

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。